

医療従事者とセルフ・エスティーム

相澤文恵

Health professions and self-esteem

Fumie Aizawa

キーワード：セルフ・エスティーム、職種に対する価値観、職業的アイデンティティ、医療従事者

医療従事者に求められているのは、正確な知識、高い技術、そして患者に対する配慮であることは言うまでもない。また、医療従事者と患者の関係は一時的なものではない。様々な状況の中で継続的に患者を支援し、医療従事者自身もバーンアウトしないために、医療従事者は自らの精神的・身体的状態を良好に保ち、向上させるよう努力していく必要がある。筆者はそのような医療従事者の職務遂行において、セルフ・エスティーム（以下SE）が重要な役割を果たすのではないかと考えている。

SEは自己の価値を評価する心理学の概念である。Rosenbergによる「自己に対する好ましい態度」という定義¹⁾が最も広く用いられており、わが国においては自尊心、自己評価などと訳されている。SEに着目した研究は1970年代後半にライフスキル教育分野で始まり、SEが高い人は問題解決能力やストレス対処能力など、人がよりよく生きていく上で重要な能力に富んでいること、ま

た、SEは問題を解決することによって高まるという相互作用があることが報告されている²⁾。

保健医療分野でのSE研究は、健康づくりあるいは疾病予防のための保健行動との関連を検討するものが多い。それらはSEが高い人ほど自分自身の健康状態を良好に保つことができることを報告している^{3,4)}。保健医療における行動科学の重要性の認識の深まりに伴い、SEと健康に関する報告の数は年々増加している。歯科学分野では、SEと歯科保健行動、特にブラッシングとの関連性が報告されている^{5,6)}、筆者らも小学生を対象とした調査で、SEの高い子供は飲料摂取などにおいてより良い歯科保健行動を行っていることを確認した⁷⁾。また、SEと医療従事者の職務遂行との関連についての研究も行われており、英国における調査では看護師の勤労意欲とSEの関連性が示されている⁸⁾。歯科医師を対象とした調査では、PurieneらがSEの欠如、孤独感などが勤労意欲に大きな否定的影響を及ぼすことを報告している⁹⁾。

近年、健康教育の枠組みは、旧来の指導・操作型から人々の自由意志を尊重する合意形成型へと転換している¹⁰⁾。疾病を予防し、健康な生活を保持・増進するためには、自らの健康を主体的にケアしようとする意志に基づいた行動が必要である。また、そのような行動を支援する医療従事者は、相手の立場を理解した上で尊重し、行動する

【著者連絡先】

〒020-8505 岩手県盛岡市中央通1-3-27
岩手医科大学歯学部口腔保健育成学講座口腔保健学分野
相澤文恵
TEL：019-651-5111(内線4516) FAX：019-622-2228
E-mail：faizawa@iwate-med.ac.jp

ことが必要である。医療従事者の役割について、Dubosはその著書「健康という幻想」のなかで、「幸福と健康をつくり出す仕事には、生物とその環境全体との間をつなぐ関係を理解する一種の英知と洞察力がある。」¹¹⁾と述べている。Dubosのいう「環境」は、物質的な環境のみならず、家族や地域のような社会環境も含んでいる。人はSEが高い状態にあるとき物事を前向きにとらえ、社会の中における自分の役割を最大限に果たすことができる。また、相手の立場を理解した上で尊重し、行動することができる¹²⁾。「幸福と健康」をつくり出す仕事を担う医療従事者にとって、高いSEであることは、職務を遂行する上での必要条件になり得ると考える。SEが高い者ほど対人コミュニケーション能力が高いことが示す報告もあり¹³⁾、医療従事者にとってSEは患者と向き合う姿勢や職業的モチベーションのみならずコミュニケーション能力とも関連することが予想される。

さて、SEは自己の価値についての認知であり、その認知は社会的な人間関係の中で変化する¹⁴⁾。Jamesは自己の概念を、物質的自己、精神的自己、社会的自己の3つに分類し、SEは精神的自己、社会的自己の成長と関連するとしている¹⁵⁾。物質的自己とは身体や財産などであり、精神的自己とは自分の意識状態や心理的能力である。そして、社会的自己とは人が他者から受ける承認や評価によって自己の中に形成されるイメージである¹⁶⁾。筆者らはこれまで、歯科衛生士、栄養士、歯科学学生、歯科衛生士学生を対象としてSEに関する調査を行うとともに、就業者には「職務に対する価値観」や職業人としての自己評価に関する調査も行ってきた。職務に対する価値観に関する質問項目は、筆者らがRosenbergの自尊心尺度をもとにして作成したものである。筆者らの調査から、SEは「職務に対する価値観」、職業人としての自己評価、生活満足度と正相関することが示されている(表1)^{18,19)}。対象者が「職務に対する価値観」に関する質問に回答するとき、回答の基準となるのは対象者本人あるいは同僚の経験であることが多いと考えられる。職業集団は対象者の所属

集団であると同時に対象者の価値観、信念、態度、行動などに強い影響を与える準拠集団¹⁷⁾でもある。したがって、職務に対する価値観に関する質問項目は、職業人としての自己評価に関わる質問項目とともに、調査対象者の社会的自己、一歯科衛生士あるいは栄養士としての自己一、がある程度評価できるものと考えられる。調査において得られたデータからのみの考察ではあるが、対象者のSEの高さは職業人としての高い自己評価や職務に対する価値観といった社会的自己の充実と、生活満足度という精神的自己の充実の両者と関連していると考えられた。

梶田はSEの形成要因として、①他者からの評価や承認による気づき、②同一視に基づく取り入れ、③役割遂行や様々な経験による気づき、という3つをあげている²⁰⁾。医療従事者のSEを高めるためには、職業的アイデンティティを確立し、継続的な成功体験を得る機会を増やすことによって、精神的自己、社会的自己を成長させていく必要がある。将来の医療従事者である学生の教育においても同様である。

「幸福と健康」をつくり出す仕事を担う医療従事者にとって、自らのSEを高めることは努力義務と言っても過言ではないかもしれない。患者が自らの存在の重要性を再認識し、健康を主体的にケアしようという意識をもって行動をできるように一患者が高いSEを持てるよう一支援しているのは、高いSEを持った医療従事者であると筆者は考える。

表1 歯科衛生士、栄養士のセルフ・エスティームと関連する要因

	セルフ・エスティーム	
	歯科衛生士*1	栄養士*2
職務に対する価値観	0.449**	0.348**
生活満足度	0.377**	0.304**
良い職業人の自覚	0.592**	0.509**
レベルの高い職業人の自覚	0.473**	0.339**

** p<0.01

*1 第55回日本口腔衛生学会(2006年)において発表

*2 第68回日本公衆衛生学会総会(2009年)において発表

文 献

- 1) Rosenberg M : Society and the adolescent self-image. Princeton University Press. Princeton, NJ. 1965, pp15.
- 2) Rosenberg M and Pearlin L. Social class and self-esteem among children and adults. *Am J Sociol* 1978 : 84 : 53-77.
- 3) Yarcheski A, Mahon NE, Yarcheski TJ et al. A meta-analysis of predictors of positive health practice. *Journal of Nursing Scholarship* 2004 : 36 : 102-108.
- 4) Baumeister RF, Campbell JD, Kreuger JI et al. Does high self-esteem cause better performance, interpersonal success, happiness or healthier lifestyles? *Psychol Sci Publ Interest* 2003 : 4 : 1-44.
- 5) Regis D, Macgregor IDM and Balding J W. Differential prediction of dental health behaviour by self-esteem and health locus of control in young adolescents. *J Clin Periodontol* 1994 : 21 : 7-12.
- 6) 丁子智恵子, 関 秀俊, 中高生の歯科保健行動における健康統制観およびセルフ・エスティームの意義. *小児保健いしかわ* 2007 : 19 : 7-12.
- 7) 相澤文恵, 南 健太郎, 杉浦 剛, 他. 歯科保健行動の促進に関わるセルフ・エスティームの効果の分析. *口腔衛生会誌* 2005 : 55 : 426.
- 8) Castledine G. What has happened to morale in nursing? *Br J Nurs* 1997 : 6 : 10-23.
- 9) Puriene A, Aleksejuniene J, Petrauskiene J et al. Self-perceived mental health and job satisfaction among Lithuanian dentists. *Ind Health* 2008 : 46 : 247-252.
- 10) 畑 栄一, 土井由利子編. 行動科学 健康づくりのための理論と応用, 南江堂, 東京, 第1版, 2003, 4 頁
- 11) Dubos R (田多井吉之介訳) : 健康という幻想, 紀伊國屋書店, 初版, 東京, 1963, 21 頁.
- 12) Coopersmith S. The antecedence of self-esteem. W. H. Freeman. San Francisco, 1967, pp4, 5.
- 13) 中谷有花, 井上 毅, 宮田 仁. セルフ・エスティームと対人コミュニケーション能力及び対人欲求との関連について. *日本教育情報学会第22回例会講演集* 2006 : 282-283.
- 14) 遠藤辰雄, 井上祥治, 蘭 千壽 : セルフ・エスティームの心理学 自己価値の探求. ナカニシヤ出版, 初版, 東京, 2002, 8-25 頁
- 15) 遠藤辰雄, 井上祥治, 蘭 千壽 : セルフ・エスティームの心理学 自己価値の探求. ナカニシヤ出版, 初版, 東京, 2002, 181 頁.
- 16) 村本詔司. 内省の事実から出発するジェームズの自我・客我論. 梶田叡一編『自己意識心理学への招待』. 有斐閣, 初版, 東京, 1994, 80-90 頁
- 17) 東 洋, 大山 正, 詫摩武俊, 他. 心理学の基礎知識, 有斐閣, 初版, 東京, 1991, 241 頁.
- 18) 相澤文恵, 岸 光男, 杉浦 剛, 他. 歯科衛生士のセルフエスティームの現状, *口腔衛生学会雑誌* 2006 : 56 : 597.
- 19) 相澤文恵, 杉浦 剛, 吉岡美子, 他. 栄養士のセルフエスティームの現状, 第68回日本公衆衛生学会総会抄録集 2009 : 284.
- 20) 梶田叡一. 自己意識の心理学. 東京大学出版, 初版, 東京, 1998, 94-119 頁.

Health professions and self-esteem

Fumie Aizawa

(Division of Oral Health Department of Developmental Oral Health Science Iwata Medical University School of Dentistry)

Key Words : self-esteem, sense of value working, occupational identity, health profession

Self-esteem (SE) from a psychological perspective reflects a person's overall evaluation or appraisal of her or his own worth. The study of SE began in the field of life skills education in the latter half of the 1970's. There are many reports that people with high SE are able to live better lives utilizing important capabilities such as problem-solving or stress management ability.

Person with high SE be able to think things positively and can play their role in the society to its maximum. In addition, person with high SE respects it after having understood the viewpoint of the other party and can behave. For health professions, such attitudes are very important when they accomplish duties. To raise health professions' SE, it is necessary for them to establish the occupational identity, and to have a lot of chance to obtain a continuous success experience. It is health professions with high SE who can support people's health and the happiness.

Health Science and Health Care 10 (2) : 59 – 62, 2010